

## はじめに

「わかりやすい育児メモ」は1976年に発刊し、今年で47年目を迎えます。2020年には3回目の大改訂を行い、小児科学の進歩と小児医療環境の変化を反映させた現在のものになりました。

子育て中は目の前のことに追われて忙しく、心配事や疑問を抱えたまま毎日が過ぎていきます。とりわけ、子どもの体調が悪い時の保護者の不安は大きくて、相談相手に恵まれずネットの育児情報に振り回されてしまうお母様に会うことも少なくありません。そのような時に活用していただきたいという思いを込めて、熊本の小児科医が協力してこの育児メモを作りました。

内容についてご紹介します。はじめに、熊本市の母子保健と小児医療体制、子育て支援に関する情報について。乳幼児健診や子育て相談の窓口、急病になったらどこに受診すればよいのか、保育園や病後児保育など、子どもを持つ家庭に生じる様々な問題の解決の糸口が見つかります。次に、子育てに必要な基本知識（予防接種、お薬のこと、栄養方法など）。乳幼児健診や診察室の中で、保護者から受ける質問に対する答えをまとめてみました。続いて、多くの子どもたちが経験

する「病気になった時」のこと。発熱や嘔吐などの症状別に対応していけばよいのかを解説しました。最後は、小児科以外の専門医からのアドバイスもあつきました。執筆者には子どもの臨床経験が豊富で現場で活躍されているみなさまにお願いしました。

子どもの育ちはバリエーション豊かですから、育児メモを読んでも納得のいく答えにたどり着けないこともあるでしょう。そのような時はまずはかかりつけの小児科医にご相談ください。

また、この育児メモは熊本市のホームページにも掲載されています。スマホやパソコンなどの端末から、いつでもどこでも見ることができますので、ぜひご利用ください。皆さんの子育てがもっともっと楽しいものとなりますように！

最後に、発刊にご尽力いただいた熊本市こども局の皆さまに心よりお礼申し上げます。